

## 後期基本計画 令和 4年度 政策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

担当部長職・氏名	健康福祉部長 勝田 裕征
----------	--------------

1. 政策の令和 4年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	<p>市民一人ひとりが自分らしい幸福感を育むために、子どもから高齢者、障がいのある人もない人もそれぞれの役割を担い、地域の絆を大切にしながら、自助、互助、共助、公助が一体となって共に生き、健やかで笑顔にあふれて暮らしている状態を目指します。</p>
--	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	59.6	63.5	56.8	56.8	△44.4
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	64	68	71	75	75	C
			65.4	62.6	62	63.2	63.2	20.8
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 4年度	進捗率(%)
1	暮らし 02010000 支えあう地域福祉の推進 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位 %	44.7	47.3	49.8	52.4	55	55	D
			46.2	46.8	43	44	44	△6.8
2	幸福 02010000 支えあう地域福祉の推進 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	63.8	67.5	71.3	75	75	C
			65.4	62.6	62	63.2	63.2	20.8
3	暮らし 02020000 安心と希望のある生活への支援 滝沢市はみんなが支えあうことで地域の課題を解決できる市だと思っている人の割合 単位 %	44.7	47.3	49.9	52.5	55	55	D
			46.2	46.8	43	44	44	△6.8
4	幸福 02020000 安心と希望のある生活への支援 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	63.8	67.5	71.2	75	75	C
			65.4	62.6	62	63.2	63.2	20.8
5	暮らし 02030000 子どもが安心して暮らせる環境づくり 子ども達が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	33.2	37.4	41.6	45.8	50	50	C
			35	39.8	34.7	39.8	39.8	39.3
6	幸福 02030000 子どもが安心して暮らせる環境づくり 子どもを安心して預けられる相手がいる親の割合 単位 %以上	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	83.8	D
			60.8	56.1	88.7	84.4	84.4	0.0

## 後期基本計画 令和 4年度 政策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

担当部長職・氏名	健康福祉部長 勝田 裕征
----------	--------------

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値 平成30年度	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値 令和4年度	進捗状況 進捗率(%)
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
7	暮らし 02040000 安心して暮らせる長寿社会の実現 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	21	21	21	21	21	21	D
			23.5	29.3	20.4	34.6	34.6	0.0
8	幸福 02040000 安心して暮らせる長寿社会の実現 いざという時に、頼れる相手がいる人の割合 単位 %以上	76.2	76.2	76.2	76.2	76.2	76.2	D
			70.6	67.4	74.8	76.7	76.7	0.0
9	暮らし 02050000 地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現 老後が不安なく暮らせると感じている人の割合 単位 %	21	18.5	19.5	20.5	21	21	D
			23.5	29.3	20.4	34.6	34.6	0.0
10	幸福 02050000 地域で暮らし続けられる地域包括ケアの実現 地域とつながっていると感じている人の割合 単位 %	43.7	45	47.5	49	50	50	D
			44.4	42.4	37.5	41.1	41.1	△41.3
11	暮らし 02060000 健康づくりを支える保健の充実 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	59.6	63.5	56.8	56.8	△44.4
12	幸福 02060000 健康づくりを支える保健の充実 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	58.5	60	61.5	63	65	65	C
			62.7	58.9	59.4	60.9	60.9	36.9
13	暮らし 02070000 健康づくりを支える新たな活動の推進 滝沢市健康づくり宣言に参加している団体等の数 単位 団体	133	136	139	142	145	145	B
			139	140	140	139	139	50.0
14	幸福 02070000 健康づくりを支える新たな活動の推進 健康づくりに取り組んでいる人の割合 単位 %	58.5	60.1	61.8	63.4	65	65	C
			62.7	58.9	59.4	60.9	60.9	36.9
15	暮らし 02080000 安心して暮らせる社会保険制度の維持 自分が心身ともに元気と感じている人の割合 単位 %	58.4	59	60	61	62	62	D
			60.7	59.6	63.5	56.8	56.8	△44.4
16	幸福 02080000 安心して暮らせる社会保険制度の維持 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	74.6	76	77.5	79	80	80	C
			69.1	68.1	71.2	75	75	7.4
	単位							
	単位							
	単位							

## 後期基本計画 令和 4年度 政策方針評価書

政 策：02 健やかで笑顔にあふれるまち

担当部長職・氏名	健康福祉部長 勝田 裕征
----------	--------------

## 2. 政策の実現に向けての令和 4年度までの取り組み状況を分析する

## (1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幸福感を実感するための基本である「心身の健康」の保持増進のため、市民、地域、団体、企業及び行政が一丸となって健康づくりを推進しました。</li> <li>・ 子育て支援のため、多様な保育等の確保や経済的支援の充実を図りました。</li> <li>・ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムを深化させました。</li> <li>・ 障がいのある人が地域等で安心して暮らせるよう、自立への支援を進めました。</li> <li>・ 生活保護をはじめとしたセーフティネット、社会保険制度の確実な実施に努めました。</li> </ul>	

## (2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和 4年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康づくり宣言の機運を生かし、健康づくりのさらなる展開を図ります。</li> <li>・ 待機児童解消、保育士の確保や経済的支援の充実を図ります。</li> <li>・ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、支援体制づくりを進めます。</li> </ul> <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康づくり宣言の機運を生かし、健康づくりのさらなる展開を図りました。</li> <li>・ 待機児童の解消には課題が残りましたが、保育士の確保や経済的支援の充実を図りました。</li> <li>・ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、支援体制づくりを進めました。</li> </ul>	

## 3. 政策の実現に向けて令和 4年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

B	取組みの一部見直しが必要
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少子高齢社会、核家族化の進行などにより社会的弱者は増加しています。</li> <li>・ 社会保障費は、継続して増加が見込まれます。</li> <li>・ 幼児教育保育の無償化、高齢者の活躍の場の拡大など、社会保障制度は、全世代型、地域共生社会へと展開しています。</li> <li>・ 地域での支えあいや健康づくりへの市民の意識が高まってきています。</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、これまで休止や縮小していた事業が再開されたことで、市民活動が活発になることが予想されます。</li> </ul> <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専門的な知識や経験が必要な業務が増加しています。</li> <li>・ 若手職員に対する知識・技術の継承が不可欠となっています。</li> </ul>	

## 4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

## (1) 令和 6年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【今後の方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会保障の新たな展開である地域共生社会の実現に対する取り組みを行います。</li> <li>・ 健康寿命の延伸に向け、健康づくりを推進します。</li> </ul> <p>【引継問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多くの市民が参加する地域共生社会のつくり方</li> <li>・ 多くの市民が参加する健康づくりのあり方</li> </ul>	

